

研修会報告

令和 5 年 1 月 14 日

文 責： 仙台市立病院 白井竜二

研修会テーマ「一般検査総合力講座 ～精度管理から臨床まで～」

開催日時 令和 5 年 1 月 14 日（土） 13：30 ～ 16：10

会 場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司 会 仙台市立病院 白井竜二

仙台医療センター 高橋理紗

生涯教育点数 20 点

参加者 会員参加者 43 名 入会申請中会員 0 名 非会員 1 名 賛助会員 1 名 学生 0 名
合計 45 名

講演 1

13：30～14：00 「令和 4 年度 宮臨技精度管理調査一般検査部門 フォローアップ研修仙
台医療センター 検査部 高橋 理紗 技師

講演 2

14：05～14：45 「尿検査の精度管理」
アークレイマーケティング株式会社 学術推進チーム 主事 柴崎 涼 先生

講演 3

15：00～16：00 「小児科医がみる尿蛋白と血尿 ～小さな腎臓を守る～」
仙台市立病院 小児科 医長 高橋 俊成 医師

16：10 分終了

内容

講演 1 では令和 4 年度宮臨技精度管理調査一般検査部門のフォローアップの講演で、正答率が低い設問について解説いただいた。特に異型細胞は例年正答率が低い傾向にあったため、組織学的な内容をはじめ鑑別ポイントについて詳細に解説いただき、実際の業務に活きる内容だった。また新規成分のヘマトイジン結晶についての説明は、鑑別に苦慮するビリルビン結晶との差異について一覧表にまとめて説明いただいた。

講演 2 は尿検査の精度管理の内容で、各施設で管理方法が異なる尿定性や尿沈渣などの管理方法について、他施設の例を取り上げて説明いただいた。ISO15189 で必要な精度管理についても解説いただき、日臨技施設認証制度取得・更新に対しても活用できる内容だった。

講演 3 では尿検査データを小児科医がどのように活用しているのかについて、県内で数人しかいないうちの 1 人である小児科腎臓専門医の高橋先生にご講演頂いた。実際の症例を多く提示していただき、血尿・蛋白尿の疾患推定への重要性を改めて実感できる内容で

あった。

アンケート調査でも全体を通して概ね有意義だったとの回答を得られた。今後も宮城県臨床検査技師会員のために楽しく学べる研修会を開催し、勉強する場を提供したい。